

2018年度近畿ろうきんNPOアワード

募集のご案内 **子どもたちの未来を応援する!**

～子育て支援の活動をすすめるNPO・ボランティア団体等を応援します!～

近畿ろうきんでは、働く人のくらしと子どもたちの未来を応援することを目的に、教育ローンを取り扱っています。<ろうきん>融資の利用が地域貢献につながる仕組みをめざして、2018年4月～2019年3月の期間に、当金庫がご融資した教育ローン合計額の0.05%（最大250万円）を拠出し、「子育て支援活動」を進めるNPO法人やボランティア団体等に助成する「2018年度近畿ろうきんNPOアワード」を実施します。

応募にあたっては、団体規模に関係なく新規プログラムの募集をする<はばたきコース>、新しい団体や活動規模は小さくても地域のために頑張っている団体を応援する<はぐくみコース>、この2つのコースから選択いただけます。

子どもや子育てを取り巻く環境が厳しくなる中で、社会的課題として「子育て」への関心が高まっています。子どもや子育てに関わる支援など「未来に活かす」多彩なプログラムの応募をお待ちしております。

1. 助成額

2018年4月～2019年3月までの期間中の教育ローン新規融資額の0.05%（最大250万円）を助成します。

主な賞と助成額、受賞団体数は、以下のとおりです。（団体数・各賞の助成額は予定）

<はばたきコース>

- 大賞 50万円 × 1団体
- 優秀賞 30万円 × 2団体
- 奨励賞 20万円 × 5団体

<はぐくみコース>

- ☆ はぐくみ賞 10万円 × 4団体

～コースの特徴～

- ☆ <はばたきコース>は、団体規模に関係なく新規プログラムを募集します。
- ☆ <はぐくみコース>は、予算規模200万円以下の小規模団体を応援します。
- ※ いずれかのコースを選択いただき、ご応募ください。

2. 応募要件

(1) 団体

- ① 近畿2府4県に主たる事務所を置き、非営利の市民活動・ボランティア活動を行うNPO法人と一般社団法人（非営利型）、法人格のない任意団体。
* 宗教活動や政治活動を主たる目的とした団体は除きます。
- ② <はぐくみコース>については、予算規模200万円以下の小規模な団体のみが応募いただけます。
- ③ 予算規模200万円以下の団体は、どちらかのコースを選択ください。（一つの団体で両方のコースを応募することはできません）
⇒ 予算規模200万円以下とは、本アワード申請時における団体の直近予算（事業

費・管理費などの合計) が 200 万円以下であることです。

また、以下の点へのご了承をお願いします。

* 申請書と提出書類(規約または定款、収支決算書を含む事業報告書、役員名簿、ニュースレターまたはパンフレットなど団体の概要がわかるものなど)を期日までに提出いただくこと。

* 助成決定団体のお名前、プログラムなどを、ろうきんホームページなどで公表させていただくことがあります。

- ④ 過去に受賞した団体は応募不可ですが、<はぐくみコース>受賞団体の<はばたきコース>への応募と、審査委員会特別賞受賞団体のいずれのコースへの応募については可とします。

(2) 助成対象事業

助成対象となるプログラムは、2019年4月1日～2020年3月31日に、日本国内で実施する新規プログラム(前年度からの継続事業でも可)で、以下のいずれかの子育て支援事業とします。

① 子どもの成長を応援する事業

② 子育て環境を整える事業

※ 直接、子どもが事業の対象でなくても、子育て支援に関わることであれば応募可とします。

<2017年度の受賞例>

- ・医療や食のプロ、地域や生産家の力を借りながら「ダウン症の子どものための食育」企画を月ごとに実施する。
- ・放射能汚染のない環境での心身解放、無農薬の食材による免疫力向上、共同生活による自主自立を目的に保養キャンプを実施する。
- ・病児や障がい児きょうだいの生きづらさを変えるため、「シブリングデー」(4月10日)にあわせた啓発コースターの配布等を行う。
- ・貧困家庭の子どもたちの野外キャンプ活動への招待を通して、貧困の連鎖からの脱出のきっかけとするプログラムを実施する。
- ・子どもの元気な声が響く地域をつくるため、「子どもサロン」を開設して、不登校やいじめなどの課題の把握と解決に取り組む。
- ・家庭と学校(職場)以外の居場所づくりを通して、大自然に触れ、人とのかかわりにホッと社会をめざすプログラムを実施する。
- ・重度心身障がい児や発達障がい児の工作教室と安心して遊べる場所を設置し、保護者同士も気軽に相談できる居場所を提供する。
- ・子どもが自己肯定感や生きる力を高めるため、家庭・学校以外の大人と出会う「お仕事せんせいプロジェクト」を実施する。
- ・発達障がいや不登校などしんどさを抱える中高生へ、自己達成感を育むため、ボランティアなどのプログラムを実施する。
- ・地域で暮らす外国人女性の子育てや日常生活を支援するため、多言語に対応できるピアカウンセラー養成を行う。
- ・穏やかな家庭・社会の構築や孤立した子育ての解消を目的に、「親子サロン」や「ひろば」、「前向き子育てプログラム」等を実施する。

・子どもたちを災害から守るため、楽しみながら災害への備えを学べるよう、防災・減災の体験・学習を実施する。

3. 応募方法

申請書に必要事項を記入の上、以下の提出書類を添付して、各2部（申請書と提出書類）を、近畿ろうきん地域共生推進室に郵送にて送付ください。（申請書類は返却いたしませんので、ご了承ください）

応募期間：2018年12月1日（土）～2019年1月31日（木）*必着

- 申請書（<はばたきコース>・<はぐくみコース>の専用申請書にご記入ください）
- 提出書類（以下の資料の提出をお願いします）
 - * 規約または定款
 - * 団体の収支決算書を含む事業報告書
 - * 役員名簿
 - * ニュースレターまたはパンフレットなど団体の概要がわかるものなど
- ※ 申請書は、近畿ろうきんホームページ（http://www.rokin.or.jp/npo/npo_award/）にありますので、ダウンロードして、作成・ご提出ください。
- ※ 応募にあたってお預かりするプログラム内容や個人情報、NPOアワード事業においてのみ使用させていただきます。
- ※ 申請書は個人情報を含んでいますので、受付は郵送に限らせていただきます。万一、EメールやFAXにて送付いただいたことにより、漏洩事故などが発生した場合、当金庫は一切その責を負いませんので、あらかじめご了承ください。

4. 選考基準

選考にあたっては、下記の視点をもとに総合的に評価し、選定します。

- ① 事業について
 - 先進性、創意工夫、社会性、実現性、効果と発展性、共感と市民参加、資金計画の妥当性、新規チャレンジ性
- ② 団体について
 - 組織の継続性・運営体制・活動歴、市民団体性
- ※ 審査結果は、2019年6月末までに書面で通知します。選考内容等についてのご質問にはお答えいたしません。

5. 選考方法

事務局による事前審査の後に、審査委員会を開催して、書類審査で選定します。審査委員は、労働組合の代表者、学識経験者、協同組合運動の実践家など、当金庫内外の以下の専門家によって構成されます。

《審査委員》（予定）※敬称略

- 福澤 邦治（近畿労働金庫会員推進機構 近畿推進会議 議長）
- 岡本 瑞子（NPO法人子どもNPO和歌山県センター 理事長）
- 山縣 文治（関西大学 人間健康学部 教授）

吉村 恵理子（公益財団法人コープともしびボランティア振興財団 事務局長）
浦田 和久（近畿労働金庫地域共生推進室 室長）

※ 事前審査時に、事務局から電話連絡や訪問をさせていただく場合があります。

6. スケジュール

2018年12月1日	
～2019年1月31日	2018年度近畿ろうきんNPOアワード応募受付
2019年3月～4月	審査委員会の開催、助成団体の選定
2019年6月	助成団体の公表、助成金の支払
2019年6月	近畿労働金庫・総会にて助成先の代表団体を表彰（予定）
2020年4月	助成プログラム終了後、報告書の提出

以 上

《応募先・お問い合わせ先》

近畿労働金庫 地域共生推進室

〒550-8538 大阪市西区江戸堀 1-12-1

TEL : 06-6449-0842 FAX : 06-6449-1414

（担当/中須・岩崎、受付/月～金、9:00～17:00、土日祝日は除く）

ホームページ (<https://www.rokin.or.jp/>)

ろうきん(労働金庫)は、労働組合や生活協同組合の働く仲間が、お互いに助けあうために資金を出し合ってつくった非営利・協同組織の＜福祉金融機関＞です。

現在、近畿ろうきんは、住宅・自動車・教育などの融資や財形貯蓄などの金融事業はもちろん、地域づくりを進めるNPOと社会福祉法人への社会的事業融資など、勤労者の生活を守り、社会を良くする「社会的金融」をめざしています。